

みんなのた場

サークル仲間 132

牡鹿グラウンドゴルフ協会

和気あいあいスポーツを通して健康増進



牡鹿グラウンドゴルフ協会の皆さん

第41回秋季牡鹿グラウンドゴルフ大会の様子



牡鹿グラウンドゴルフ協会は、清崎総合運動公園で毎週火曜日・木曜日に活動しています。石巻市と合併する前の牡鹿町時代から継続しており、今でも元氣よく、楽しくグラウンドゴルフをプレイしています。

や老人クラブとの交流、女川町や山形県のクラブとも練習会をしており、地域の枠組みを超えて活発に活動しています。

生涯スポーツともいわれるグラウンドゴルフは高度な技術を必要とせず、プレイ中は全員が明るく笑顔と歓声に包まれて楽しむことができます。また、通常のゴルフ場の

ような広い敷地がなくても、スタートマットとホールポストを設置することで、自由にコース設定できる手軽さが、グラウンドゴルフの魅力のひとつです。

牡鹿グラウンドゴルフ協会では随時会員を募集しています。年齢は問わず、一緒にグラウンドゴルフを楽しんでくれる仲間を募集中です。問い合わせは牡鹿公民館(☎45-261)まで。

令和3年6月から10月にかけて、牡鹿半島の給分浜で、県道石巻鮎川線給分浜復興道路の建設に伴い、中沢遺跡の発掘調査を行いました。

文化財 たんぽう 119

「中沢遺跡の発掘調査」

石巻市教育委員会生涯学習課



マグロの骨が並ぶ様子

この遺跡は、平成24年度から25年度にかけて、防災集団移転促進事業に伴い発掘調査を実施し、縄文時代前期の大規模な集落跡であることが分かっています。今回は、その過去の調査で見つかった遺物包含

層(ゴミ捨て場)の続きを発見しました。遺物包含層からは、今から5千年程前と考えられる縄文土器や石器、マグロや鹿などの骨が出土しました。使われなくなった土器が潰れた状態で出てくる様子、食べ終わった後のマグロの椎骨が並ぶ様子も見られ、中沢遺跡だけでなく、牡鹿半島の歴史を考えるうえで貴重な資料を得ることができました。

今回の調査のように、当時はゴミとして捨てられたものが、今となってはそこに暮らしていた人々の生活を知ることができる貴重な文化財です。一度壊してしまえば元に戻すことはできない遺跡を保護するために、遺跡の範囲内で土木工事等を行う際には、文化財保護法に基づく届出が必要になります。工事の前に、事業予定地が遺跡と関わりがあるかどうか、当課(内線5056)まで問い合わせください。

Life Across the Pacific

～ 太平洋を越えて ～ VII

米国カリフォルニア州出身で、日系アメリカ人のリュウガ国際交流員のコラムです。「Life Across the Pacific」とは太平洋の向こうの生活ということです。石巻はカリフォルニアと同じく太平洋に面しています。太平洋の両側で生活してきた経験を生かして石巻とカリフォルニアのそれぞれの魅力を語ります。



国際交流員のリュウガさん

Happy December! It feels like this year went by in the blink of an eye. Today I want to talk about Christmas. When I first came to Japan I was very surprised to learn that many people order fried chicken for Christmas. In the USA, most families will generally have turkey or ham for Christmas. That said, my family preferred Japanese food, so we had a nice dinner of temaki sushi for Christmas. I still can't return home due to pandemic but Ishinomaki has very affordable and delicious sushi, so I plan on keeping that tradition.



Gift giving is a huge part of Christmas in the United States. Of course many families have Santa leave presents under the tree for children, but many teenagers and adults also arrange gift exchanges with friends and coworkers. One of my favorite kinds of gift exchange is Secret Santa, a game where each person in a group is randomly assigned another person to choose a present for. The gift is given anonymously and the recipient tries to guess who the Secret Santa is. I once had a classmate, a guy who always wore black and listened to heavy metal, decorate their gift with pink ribbons and hearts, even going so far as to spray a bit of perfume on the box to try to avoid being guessed. It is usually a fun and wholesome experience, so please give it a try if you get the chance!

あっという間に12月になりました。今回はアメリカのクリスマスを紹介したいと思います。日本に最初来た時は、クリスマスにフライドチキンを食べる習慣があると聞いて驚きました。アメリカはクリスマスに主にターキーやハムを食べています。家族は和食好きなので毎年クリスマスに手巻き寿司という変わった習慣があります。実家になかなか帰れない状況ですが、石巻の寿司や海鮮は値段がリーズナブルでとても美味しいので今年も習慣をきちんと守りたいと思います。

アメリカのクリスマスは食事よりプレゼント交換の方がメインだと思います。子供はもちろんサンタからプレゼントを貰いますが、その他多くのアメリカ人は友達同士や同僚同士のプレゼント交換をします。方式の一つは事前に参加者全員がくじ引きでプレゼントを用意する相手を決めます。当日、誰からのプレゼントかを当てるゲームで、アメリカでは「シークレット・サンタ」と呼んでいます。大事なものは相手まで自分がシークレット・サンタであることをバレないようにプレゼントにピンクのリボンやハートを飾り、香水まで付けた経験がありました。渡す相手のことを考えて喜びそうなプレゼントを選ぶ、素敵なゲームなのでぜひ友達や家族とやってみてください。

Topic of town まちの話題



石巻 走らずに周りを見て

避難考える防災サッカー

ベガルタ仙台と本市との復興支援連携推進協議会は、10月17日にセイホクパーク石巻で防災サッカー教室を開きました。「落ち着く」「走らない」「周りを見る」が条件。参加者は親子で手をつないだり、友達同士でピブスを持ってたりして2人1組となり、走りたい気持ちを抑えながら周囲を見てパスを出すなどミニゲームを通じて災害時の避難の在り方も考えました。



オリンピックが熱血指導

小中高生に陸上クリニック

「陸上クリニックin石巻」が11月3日、追波川河川運動公園で行われ、市内の小中・高校生が国内トップレベルの選手から基礎から専門的な練習まで指導を受けました。平成13年からミズノトラッククラブの協力で開催されており、今年は東京五輪200mに出場した飯塚翔太さんや同じく110mハードル出場の金井大旺さんら5人が講師を務めました。参加した子どもたちは、選手の指導に熱心に耳をかたむけ、真剣に取り組んでいました。



河北 河北幼稚園で運動会

マスク越しに笑顔広がる

河北幼稚園の運動会が10月2日に行われました。青空の下の園庭でかけっこや障害物競争、ダンスといった9つの種目が繰り広げられ、オリンピックにちなんだ親子参加の競技も盛り上がりました。新型コロナウイルス予防で、観覧は各家庭2人までに制限。保護者はデコレーションしたマスクや子どもたちの手作りグッズで応援し、園庭は笑顔でいっぱいになりました。



雄勝 防潮堤が映画館スクリーンに

雄勝でドライブインシアター

一般社団法人ISHIN OMAKI2.0主催のドライブインシアター(野外映画上映会)が10月9日に旧おがつ店こ屋街跡地で開かれました。防潮堤の側面に映写機を使ってアニメ映画「ミニオンズ」を上映。ラジオの周波数を合わせることで車内に音声が流れ、親子ら31組が臨場感あふれる上映を楽しみました。



河南 災害に備え体育館に避難所

河南東中で総合防災訓練

生徒たちが災害時に適切な行動ができる自主防災力を育むため、河南東中学校で11月2日に総合防災訓練が行われました。今年は初めて3年生による「避難所開設訓練」が行われ、体育館が地域の避難所になったという想定で、受付での名簿確認や体温測定、ブルーシートによる区画の整理、プライバシーを確保する間仕切りの設置などを訓練しました。屋外では米と水を入れて湯せんで炊く炊き出し訓練も行われました。



桃生 地域の治水を学ぼう

桃生小が北上川体験学習

桃生小学校の4年生20人が、北上川を船で下る体験学習を行いました。普段の授業で地域の河川である北上川について学習しており、川下りは堰や閘門などを見学して実際の治水について知るのが目的です。登米市登米町の船着き場から約7km下流の北上川河川歴史公園まで船に乗って学習。脇谷閘門では二つの水門を巧みに利用し、水位差を解消して移動する体験をしました。



北上 農作物栽培から環境学ぶ

川のビジターセンター敷地内

親子で農作業を楽しみながら環境について学ぶ「tsukuruプロジェクト」が10月23日に行われました。今年4月から始まったこのプロジェクトは毎月1回開催され、季節ごとの野菜を育てながら農業を体験していきます。この日は川のビジターセンター敷地内にある畑で、畝作りと種まきを体験。冬野菜となるホウレンソウとタマネギを植えて、これから生育や手入れ、最後に収穫を楽しんでいきます。



牡鹿 動く市長室が開催

移住・定住や防災で提言

これからのまちづくりについて、齋藤市長と市民が直接対話する「動く市長室」が、11月5日に牡鹿保健福祉センター清優館で行われました。東日本大震災の発生で休止していた事業で、「移動市長室」の名称を改めて再開しました。今後、各総合支所単位で行う予定で、初回の牡鹿地区は19人が参加。移住者を増やすための住宅確保や原子力災害に備えた避難道路の早期整備について要望が寄せられたほか、小学校の統合に関する提言もありました。

